

# 区社協からのご案内

## 能登町災害ボランティアセンター派遣報告

社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会 平野慶太郎

1995年の阪神淡路大震災では、延べ100万人を超えるボランティアが被災地に駆けつけたと言われています。この際、ボランティアの振り分けがうまくいかず、効率的な被災地支援活動という点において課題が残りました。これらを踏まえ、災害ボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点として「災害ボランティアセンター」の整備が進められ、その設置運営主体が社会福祉協議会となっています。

今回、能登町災害ボランティアセンターへ派遣されたのは7日間で、全国から集まるボランティアと、ボランティアを必要とする依頼者のコーディネートを行いました。依頼は、家財の解体、瓦や畳の搬出、地盤沈下により浸水した住宅の泥かき等が散見されました。「ふだんの暮らし」に一步でも近づけるようにボランティアと一丸となってセンター運営を行いました。

今回の派遣を通して、『家財の転倒防止や食料のローリングストック等の重要性』、『人や地域とのつながりは、防災や発災後の見守りに直結』すると痛感いたしました。これからは誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなでつくっていきましょう。



## 令和7年度 さかえ ふれあい助成金説明会

さかえ ふれあい助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的としています。

募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。

日時：① 令和7年3月12日(水) 10時～  
② 令和7年3月13日(木) 14時～  
③ 令和7年3月15日(土) 10時～  
(①、②、③とも、同一内容です)

場所：ピアハッピー栄  
申込方法：WEBフォームにて申込み、または団体名、参加者氏名、電話番号、希望日をお電話またはFAXにてご連絡ください。

申込締切：2月21日(金)

※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。



←こちらを読み取り

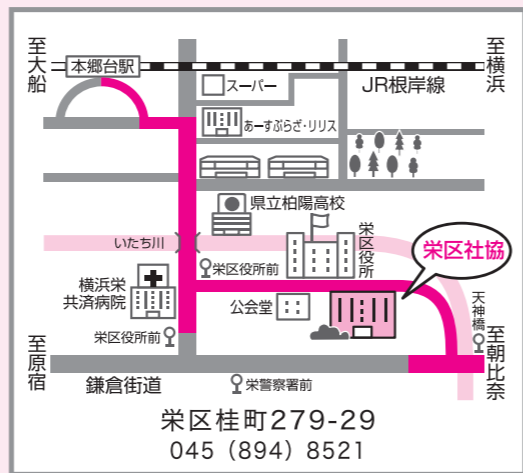
お願いします。



本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】  
豊田(吉野 恵子) 笠間(田中 貞代)  
小菅ヶ谷(野村 伸子) 本郷中央(長沼 勲)  
本郷第三(寺本久美子) 上郷西(渡邊 晶)  
上郷東(菊地 啓子) 栄(おもちや病院 蒲谷 稔)  
積み木(中澤 孝子) 栄(おもちや病院 小橋 弘子)

【編集後記】  
お持ちのスマートフォンや携帯電話に防災情報や防犯情報を届けてくれる、メッセージリストをご存知でしょうか。  
「横浜市防災情報Eメール」に登録すると、横浜市からの緊急なお知らせや気象警報・注意報、地震情報や各種警戒情報が送られてきます。頻発する線状降水帯による豪雨災害や南海トラフ地震情報も気になると思います。  
また「栄区役所からの防犯情報メール」からは、区内で発生した犯罪の情報も提供されます。なかなか減らない特殊詐欺や自転車盗難などへの対応策も大事です。  
情報があふれる時代ですが、信頼のおける情報源から正確な情報を迅速に入手することがあなたやご家族の安全安心を確保する上で、大変重要だと考えています。  
是非、登録することをお勧め致します。  
(長沼)



# さかえ区社協だより

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045 (894) 8521 Fax 045 (892) 8974

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : https://sakaeku-shakyo.jp

No.61

令和7年2月1日発行

## 地域で育てよう！思いやりの芽

～学校を含めた地域全体で子どもたちの健やかな成長と豊かな心を育む～



かさまゆうわ館で  
プールのボランティア

笠間地区更生保護女性会や民生委員などが中心となり、夏休みに親子を対象としたプールイベントを実施。中学生が7～8名参加し、開始前の準備から子どもたちとのプール遊びまで手伝ってくれました。中学生からは、「普段子どもたちと触れ合う機会がないから楽しかった」などの感想が寄せられました。(笠間)



栄区更生保護女性会が主体となり、小学6年生と中学3年生を対象に「社会を明るくする運動」について作文を書いてもらいました。日頃の家庭生活や学校生活の中で体験したことをもとに、いじめや犯罪のない地域社会づくりなどについて考えたことや感じたことを作文にすることで、改めて更生保護について考える機会を作っています。(栄区)

「社会を  
明るくする運動」の  
作文コンテスト



配食ボランティア「積み木」で  
お弁当の配達体験

豊田地区主催の「夏ボラ」を通して、2人の中学生がボランティア体験に来てくれました。今年はお弁当の配達を担当してもらいました。お届け先の高齢者のご利用者様も子どもが配達してくれるのを楽しみに待っていていました。中学生にとって貴重な体験になったと思います。(積み木)

敬老会  
お手伝い

本郷第三地区の慶寿会に中学生が参加しました。高齢者をトイレに誘導したり、片付けのお手伝いをしてくれました。(本郷第三)



学校での実践事例については  
次のページ!

区社協ホームページでも  
事業紹介をしています。



詳しくは  
コチラ

栄区社協

検索

視覚障害のある方にも広報紙の情報を提供できるように音声版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

## 五感で学ぼう！ 高齢者疑似体験

12月18日(水)、千秀小学校の放課後キッズクラブを利用して小学生を対象に、車椅子体験と高齢者疑似体験を実施しました。今回は豊田地域ケアプラザを通して依頼があり、豊田地区保健活動推進員、ボランティア団体「豊田男塾」の方々にも講師としてご協力いただきました。

高齢者疑似体験では、白内障メガネや軍手をした状態で漫画を読んでみたり、左右のポケットにおもりが入ったベストを着用しながらマットの上で起き上がるといった日常生活動作を通して、加齢による身体的な変化や不自由さを体感してもらいました。

子どもたちからは、「車椅子が難しかった」「ベストが重かった」など、ありのままの意見を聴くことができました。また、「おばあちゃんやおじいちゃんがこの状態で生活していることを初めて知った」「困っていたら助けてあげたい」という感想も挙がりました。

高齢化は誰もが避けることはできません。今後も高齢者に対する理解と思いやりの心をもって、福祉の芽を大切に育みます。

小学校の放課後キッズクラブにて  
実施しました



## えびっどの出前講座

劇を通して、  
「すべての人はちがう」を伝えています

栄区自立支援協議会では福祉・学校・医療等の関係機関が相互の連携を図りながら、地域課題に対し8つの部会を設け活動をしています。その中のひとつがえびっどが行なう出前講座です。

出前講座では、近年増えつつある発達障害の特性を持つお子さんへの理解に向けて、“障害”ではなく“個性のちがい”という視点から、考えるきっかけを提供しています。

「すべての(Every)人(Person)は(Is)ちがう(Different)」という英語の頭文字から“えびっど(EPID)”という名称で知られるようになりました。

「十人十色なカエルの子」を題材にしたパペット風の劇には生徒さんたちがロールプレイのかたちで参加し、“自分ならどうする”を伝えてもらっています。相手の気持ちを考え、接し方を工夫することでお互いが心地よく過ごせるということをいっしょに考える機会となっています。

現在は小学校低学年を中心に実施していますが、今後は高学年や中学校、地域の方々に向けても活動を広げていきたいと思っています。

出前講座をご希望の方、また、ご興味のある方、いっしょに活動に参加くださる方々を広く募集しています。

子どもたちが健やかに学校や地域の中で自分らしく過ごしていけるよう、皆様のご協力をよろしく願いいたします。

活動者募集中!!

●●●●基幹相談支援センター問い合わせ先●●●●

担当 佐川・小杉  
電話 045(890)6601  
E-MAIL sakaejiritsukyo@houmon-no-ie.or.jp



## 会員団体 活動 訪問記

## 「横浜栄共済病院」～地域とのつながりを大切に～

栄区民にとって一番身近な総合病院である横浜栄共済病院に訪問させていただきました。通院や入院、入退院時等に面談や相談支援をしてくださる「患者サポートセンター」でお世話になっているだけでなく、普段から様々な形で地域とのつながりを大切にされています。SAKAESTA などでの出張講座等で知っているという方もおられるのではないのでしょうか。



今回は11月16日に防災訓練が行われたばかりということで「防災」をキーワードに様々なお話を聞かせていただきました。



(左から、山本課長、安西事務部長、渡邊副院長、坂本事務部長)

災害時の病院としての備えをお伺いすると、「地下水をくみ上げ浄水にするシステム」「3日分の非常用電源」「ガスコージェネレーションシステム」の用意があるとのことでした(それらは手術室や透析、生命維持機器利用など患者用が優先)。また、発災した際には職員の安否確認システムがあるだけでなく、病院に参集できるかなど、発災を想定した具体的な訓練を行い確認しているそうです。

「災害の際には、怪我をした方などの受け入れ等も発生しますし、トイレなど施設を借りに来る地域住民もいると考えられます。区役所や消防、警察、そして区社協などを含めた大きな防災ネットワークのなかでの役割や地域との連携については、栄区医師会や総合病院としての役割を踏まえつつ、これからより具体的な話し合いを進めていけるとよいと思っています」、というお話でした。

防災や発災時の横浜栄共済病院の役割は、区民としてもとても気になるところです。今後の防災ネットワーク全体の動きも含めて注視していきたいと思いました。

お忙しい中、掲載しきれないほど様々なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。

(野村・小橋)

## 第36回栄区社会福祉大会



令和6年11月27日(水)第36回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)を栄公会堂で開催しました。今年度は、「『情熱た!い!り区』～栄を支える功労者たち～」と称し、第1部では写真などを用いて表彰される皆様の活動を視覚的に紹介しました。皆様のこれまでのご功績に対し、心からの敬意とともに感謝の意を表します。

活動紹介はホームページで公開しています。  
動画はこちら



### 【ボランティア活動功労】

鈴木 宏一	畑 静子	ブループラネット
岩谷 智恵子	松田 直美	遊樂舎
小野寺 淳子	池田 民雄	飯島お手伝い隊
浦 敦	吉田 朝代	みんなの居場所「カフェ・かみの」
		特定非営利活動法人 積み木

### 【福祉団体自主活動功労】

岩田 有利子	宮川 玲子	涌井 秀治
藤田 みちる	竹谷 康生	三國 隆光
助川 美枝子	塚本 忠志	



おめでとうございます!